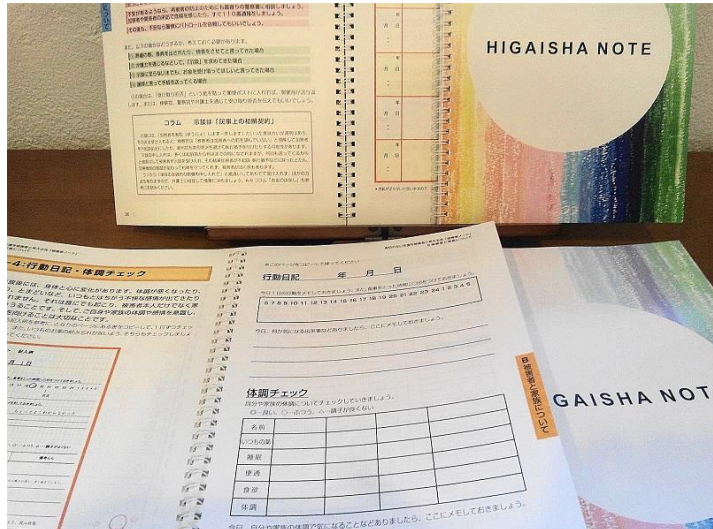


概要報告書

2015 年度

事業種別	広域安全事業
団体名	途切れない支援を被害者と考える会
事業名	犯罪被害者向けノート作成事業(改訂版作成)
<p>犯罪被害者等基本法制定以降、支援はあちこちで始まったがぶつぶつと途切れ、被害者は自分で支援してくれそうなところを訪ね歩いている。この現状を解決するため、2008年から「途切れない支援」について考える勉強会を開催。殺人、交通犯罪被害のご遺族、強姦致傷、ストーカー事件、子どもの頃の性虐待の当事者などを加え勉強会を重ねてきた。</p> <p>2014年には書き込み式の「被害者ノート」が完成した。このノートは、裁判時等に使える記録となると同時に、事件の振り返りにも利用でき、被害者等の精神的回復にも資するものとなった。</p> <p>今年度は、実際に使用しての感想や改善点を伺い、コピーして使うページを示すアイコンを入れるなどの工夫を図った。全国各地の被害当事者の他、都道府県、警察、被害者支援センター、弁護士などからも多数の申込みがあり、ご寄附分で印刷したものも含め、約770冊を被害当事者や支援者に送付した。また、この取組が『犯罪被害者白書』に掲載されるなど当会の活動が注目された1年だった。</p>	
	

注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。